No.A023	解答	名前	点数
ぬから始まる言葉編			／20

①	旅先で写真に写す「ぬい撮り」の被写体となる、綿を詰めた布製の玩具で、 動物や人物などを模した形に作られ、抱いて遊ぶこともできるものは何？	ぬいぐるみ
②	米油の原料になり、塩と水を混ぜて発酵させれば漬物にも使われる、 玄米を白米に精米するとき、表面の層や胚芽を削り取って出る米由来の粉は何？	ぬか
③	刀を鞘から抜くと同時に斬りかかる武道での動作と名を同じくする、 学校や店舗などで、事前に知らせず突然行うテストや検査は何？	抜き打ち
④	「着せられる」「晴らす」と続けて使われ、服をまとわせることになぞらえた、 身に覚えのない罪や、不当な悪評そのものを表す言葉は何？	濡れ衣
⑤	乳酸菌の働きで野菜に酸味とうまみを加え、手入れしながら使い続ける、 精米で出る粉に塩と水を混ぜ、野菜を漬け込むために作る床は何？	糠床
⑥	銚子電鉄が鉄道経営を支える食品として販売し、沿線の名物にもなった、 焼きたてを醤油だれに浸してしっとりさせた、柔らかい煎餅は何？	濡れ煎餅
⑦	『平家物語』には淀川（よどがわ）に落ちた人を鼠にたとえる表現も見られる、 衣服を着たまま全身がずぶ濡れになった様子を、動物になぞらえた言葉は何？	濡れ鼠
⑧	刺激も緊張感もない職場や暮らしを、風呂の温度になぞらえるときにも使う、 熱くも冷たくもなく、入浴にはやや低めの温度になったお湯は何？	ぬるま湯
⑨	京のいろはかるたで「ぬ」の読み札に選ばれ、働きかけても手応えがない、 精米で出る柔らかい粉に釘を打つ様子から、効き目のなさを表すことわざは何？	糠に釘
⑩	英語でワイルドビーストと呼ばれ、尾が黒い種類と白い種類がいる、 アフリカの草原で大きな群れを作って移動する、ウシ科の動物は何？	ヌー
⑪	アニメ『ゲゲゲの鬼太郎』では鬼太郎と対立し、妖怪の総大将を名乗る、 昔の妖怪絵巻にも大きな頭の姿で描かれている、老人姿の妖怪は何？	ぬらりひょん
⑫	狩野川（かのがわ）の河口に港を持ち、和船の渡し船が市民の足になった、 伊豆半島の付け根で駿河湾に面し、富士山も望める静岡県の市はどこ？	沼津市
⑬	水にぬれた手で細かな粟（あわ）をつかむと、粒が自然と付く様子に由来する、 ほとんど苦労せずに利益を得ることを表す、穀物を用いたことわざは何？	濡れ手で粟
⑭	高知県ではネギとサツマイモを使った郷土料理の名にもなっている、 野菜や魚介類などを酢味噌で和え、とろりと仕上げる和え物は何？	ぬた
⑮	野球の球種「ツーシーム」では、投手が2本の指をこれに沿わせて握る、 布や革を針と糸で縫い合わせたとき、表面にできる筋状の部分は何？	縫い目
⑯	泥棒に金を盗まれたうえ、さらに相手へ金を渡す場面をたとえにした、 最初の損に加えて、余分な損まで重ねてしまうことをいうことわざは何？	盗人に追い銭
⑰	源頼政（みなもとのよりまさ）が射落としたと伝わる、虎に似た四肢を持つ、 『平家物語』では頭が猿、胴が狸、尾が蛇に似ると描かれる妖怪は何？	鵺
⑱	南米から毛皮用に日本へ持ち込まれ、今は特定外来生物に指定される、 水辺に暮らし、オレンジ色の前歯を持つ齧歯類（げっしるい）は何？	ヌートリア
⑲	ゴダールとトリュフォーらが担い、フランス語で「新しい波」を意味する、 1950年代末にフランスで広がり、従来の映画制作を変えた運動は何？	ヌーベル・ヴァーグ
⑳	『万葉集』巻1の「あかねさす紫野行き標野行き」で始まる歌を詠んだ、 天智天皇と天武天皇の時代に宮廷で活躍した女性の歌人は誰？	額田王